

第1部会意見の集約(6月11日分)

大分類	中分類	ポイント	意見	備考
前文	-	安心・安全	安心して住める街 住み続けたいと思う街	
			災害時、犠牲者を1人も出さないまち	
			安心して安全に暮らせる町にしたい	
			セーフティネット(安心して最後の一人まで)	
			安心して夜道を歩けるまち	
			誰もが安心してくらせるまち	
			市民を全力で守る決意	
			安心・安全のまち→カギのいらないまち	
			ほっとするまち	
			安心と平和を願うまちづくり	
		人権	市民一人ひとりが尊重される町にしたい	
			市民が1人ひとり個人として尊重されること	
			市民一人一人が大切にされるまち	
			権利主体であるところの市民が大事にされるまち	
		市民の主体性	市民主体のまちづくり	
			越谷市民による、越谷市民のためのまちづくりを、この条例が規定する	
			市民が権利主体であるという文言。例えば、住民が主人公であるまち	
			自ら考え、話し合える	
		都市の自立性	市民が自治に参加し協働できる社会を実現する	
			住民自治—地方分権	
			市独自でも自給自足が出来る方向	
			市民が決めたことを県や国に指図されない。県や国によって変化しない	
		自然環境・景観	地方自治	
			越谷の水と緑の自然を100年後に残したい	
			自然を保護し、50年先を考えてみんなで作るまち	
			100年後も自然環境が変わらない、あるいはもっと自然環境が良くなる	
			水とみどり(越谷らしさを具体的な表現で)	
		若者・子育て	土が残っている、水が流れているから自然が豊か	
			100年後に残したいまち(なみ)景色	
			若い人が子育てしやすいまち	
			子供の声の聞こえる町 明るい町	
			若者がいきいき表現活動していけるまち	
			若者が夢をもって暮らせるまち	
		高齢者	子どもが自由に遊べるまち	
			子育てしたくなるまち、子どもを産みたくなるまち	
		歴史・文化性	高齢者が安心して暮せるまち	
			熟年者が生き甲斐を感じるまち	
			文化作品のあふれるまち	
			市民が共に文化を創っていけるまち	
			文化都市 文化の盛えるまち	
		未来志向	文化・芸術の発展	
			歴史的経緯を含めた越谷らしさ	
			20年、50年—住み続けたいまち	
			子どもたち(未来にわたる市民、未来の越谷人)に向けてのメッセージ	
			サステナブルな(持続可能性の高い)都市	
		連帯感	未来に向けたまちづくり	
			未来に希望がもてるまち	
となりの人の顔が見えるまち				
入りやすい社会、受け入れやすい社会				
心	まちの中に自分が受け入れられている、必要とされているという実感			
	市民が話せるまち			
全般的	越谷市の21世紀は「心」豊かなまちにしたい			
	思いやりのある			
民主主義	協働、共創、共助のまちづくり			
	市民が力を合わせて共に助け合って安心して心豊かにくらせるまち			
居住性	21世紀の民主主義			
スポ・レク	住みよい			
	スポーツ、レクリエーション			

市民	定義	越谷市の生活者	
		住民登録している人	
		市内に立地する事業所や学校等に通勤・通学する人	
		外国人登録している外国籍の人	
		一定期間生活している日本人・外国人(登録にかかわらず)	
		市内に立地する法人	